

鐵道省の大異動

廣島鐵道局が新設されることになり、兼て鐵道人事行政刷新の目的から、鐵道省では下の大異動を斷行した。(括弧内は舊職)

○

黒田武定氏(工務局改良課長兼東京改良事務所長)東京改良事務所長に。
 後藤宇太郎氏(鐵道監察官)鐵道技師工務局改良課長に。
 阿曾沼均氏(門鐵工務課長)鐵道監察官に。
 山中良樹氏(東鐵工務課)門鐵工務課長に。
 白石鐵藏氏(門司保線長)名古屋保線事務所長に。
 大森義文氏(室蘭保線長)門司保線事務所長に。
 橋村益水氏(札鐵工務課)室蘭保線事務所長に。
 堀山力熊氏(熊本保線長)金澤保線事務所長に。
 中津光藏氏(大鐵工務課)熊本保線事務所長に。
 川口利雄氏(工務局改良課)東鐵改良掛長に。
 鮫島午吉氏(札鐵工務課)大鐵勤務に。
 船本貫時氏(秋田保線長)札鐵工務課工事掛長に。
 稻積豐二氏(上野保線事)秋田保線事務所長に。
 吉岡重慶氏(山形保線長)淡明保線事務所長に。
 小島兼文氏(東鐵工務課)山形保線事務所長に。
 志賀 靖氏(上野保線長)仙鐵工務課長に。
 渡邊榮五郎氏(工務局保線課)上野保線事務所長に。
 田中憲造氏(米子保線長)新津保線事務所長に。
 岡村一彦氏(鳥栖保線長)米子保線事務所長に。
 中津海楨次氏(門鐵工務)鳥栖保線事務所長に。
 堀尾豐熊氏(新橋保線長)札鐵工務課長に。
 柳ヶ瀬正哉氏(工務局改良課)新橋保線事務所長に。
 赤星梅吉氏(旭川保線長)札幌保線事務所長に。
 古谷寅雄氏(名古屋保事)旭川保線事務所長に。
 光成毅平氏(新宿保線區主任)釧路保線事務所長に。
 加納儉二氏(盛岡建設技師)秋田建設事務所へ。
 松村 務氏(東鐵工務課長)札幌鐵道局長に。
 大島 清氏(官保長書記官)仙臺鐵道局長に。
 島岡浩一郎氏(官文長書記官)門鐵局長に。
 深浦龍雄氏(門鐵局長)依願本官を免す。
 瓜生卓爾氏(札鐵局長)同。
 山岸輝雄氏(仙鐵局長)同。

古谷 晋氏(大阪改良長)東鐵局工務課長に。
 佐藤 鼎氏(大鐵工務長)大阪改良事務所長に。
 高田 清氏(工務局改良)大鐵局工務課長に。
 江畑弘毅氏(工務局技師)依願免本官。

土木課長の異動

川上新潟縣土木部長の内務省入り及び川越愛知縣土木部長勇退に伴ひ、過般各縣土木部課長に下の如き異動があつた。
 川上國三郎氏(新潟縣土木部長)地方技師の氏は内務技師となり土木局勤務を命ぜらる。
 山口十一郎氏(廣島縣土木部長)たりし氏は愛知縣土木部長に。
 荒木榮二氏(富山縣土木課長)たりし氏は新潟縣土木部長に。
 長谷川勝伍氏(岡山縣土木課長)たりし氏は廣島縣土木部長に。
 關谷新造氏(山日縣土木課長)たりし氏は富山縣土木課長に。
 鈴木健二氏(大阪府土木部河港課長)たりし氏は山口縣土木課長に。
 飯島馨之助氏(山梨縣土木課長)たりし氏は岡山縣土木課長に。
 田寺元治氏(東京府第一道路改修事務所長)たりし氏は山梨縣土木課長に。
 川越 篤氏(愛知縣土木部長)たりし氏は今回勇退せられた。
 尙欠員中の秋田縣には長野縣河川課長の高田廣氏が榮轉し、その後には福島縣の加藤平吉氏が据つた。

帝國鐵道協會總會

帝國鐵道協會の第三十二回總會は五月二十六日新潟市に於て開催された。全國より來り會する者實に六百餘名、新潟市稀有の盛觀を呈した。同協會の第十六回總會が新潟市で開催されたのは大正八年五月で、爾來十有六年その間に於ける新潟港の發展は實に隔世の觀あり會員の中には懷舊の情禁じ得ない人も相當多かつた。尙一行は農林省新潟米穀倉庫新潟農園、新潟鐵工所、日石新潟製油所、三菱佐渡鐵山等を視察した。本社からは岡崎主幹が出席した。